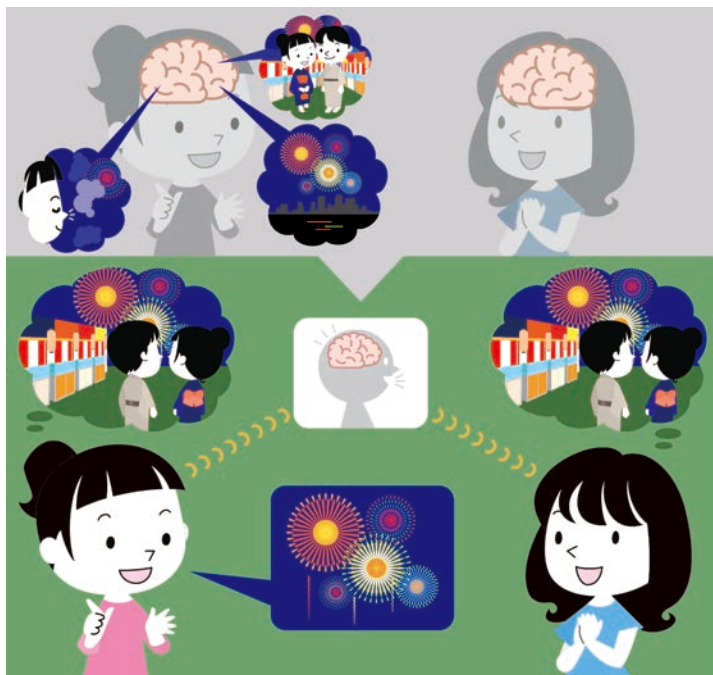


脳の状態を可視化し、心と心を繋ぎます



背景

従来のコミュニケーションでは実現できない情報伝達や人間関係構築を、脳情報を活用することで可能にする“感性コミュニケーション”に取り組んでいます。

成果の概要

脳内表象を使って感情や知覚を図形や音などで表現し、共有する「脳内表象のモデル化と可視化」、共感しているときに現れる脳活動の同期状態を可視化する「脳波カップリング率のニューロフィードバック」を実現しました。

技術のポイント 1

言語などでは表現できない感じ方を伝えるために、脳の反応をモデル化し、幾何学的な形を使って可視化

技術のポイント 2

内面状態のカテゴリ分類をするのではなく、微細な内面状態を脳波の類似性構造に基づいて多次元的に表現

技術のポイント 3

内面的な共感状態などの関係性を表現する、二者間の脳波カップリング率をリアルタイムに計測、可視化



この研究がもたらす未来

リモート会議、アバターコミュニケーションなど、相手の感情や納得といった認知状態を読み取りにくい状況で、視覚的に提示された相手の脳内表象により、コミュニケーションを円滑化します。

出展企業

日本電信電話株式会社

問い合わせ先

rdforum-exhibition@ml.ntt.com